



橋本市長
平木 哲朗

新年、明けましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

就任以来まもなく8年を迎えようとしております。この間、「元氣なまちづくり」の視点に立ち、「任んでよかった」「任みたくなる」が実感できる市政運営に取り組み、市民生活の向上に努めてまいりました。

昨年は、市内医療機関のご協力のもと新型コロナウイルスの接種が進み、少しずつではありますが、日常が戻りつつあるように感じています。市いたしましたし、でも、「生活応援クーポン券」の発行や、市独自のひとり親世帯臨時給付金など、コロナ禍における対策事業を実施してまいりました。

今後も引き続き地域経済の活性化や市民生活への支援に取り組むとともに、コロナ収束後を見据えた積極的なシタイプロモーションにより、交流人口・関係人口の増加を目指してまいります。

また、本年は「SDGs」への取り組みをこれまで以上に推し進め、「誰一人取り残さない、持続可能な橋本市」に向けたまちづくりを進めてまいります。子どもから高齢者まで、市民の皆さま一人ひとりが輝き、活躍することのできる市政運営に取り組みでまいりますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。



橋本市議会議長
小林 弘

新年、明けましておめでとうございます。

皆さまには、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、コロナ下での制約があったものの、選手たちが世界の頂点を目指し繰り広げた熱戦には、スポーツの素晴らしさを実感し、感動に心が震えました。和歌山に目を向けますと、紀の国わかやま文化祭2021や全国高等学校総合文化祭が開催され、県内各所で芸術・文化イベントが繰り広げられました。日本の各種芸術・文化を身近に感じることができ、日本の良さを再認識しました。スポーツや芸術・文化などいきがいや夢につながるイベントを目のあたりにした一年となりました。

本市では現在、全国的な課題である人口減少・少子高齢化や、本市特有の小中学校など公設施設の老朽化などが進んでおり、これら多種多様な課題に対処しながら、誰もがいきがいを持ち、夢を実現できるよう、今後のまちづくりを市民の皆さまと共に考え、共に取り組んでいく必要性を痛感しております。

市議会では皆さまの負託に応えるべく、議会機能を十分發揮し、活発な議会活動を通して諸課題を解決し、さらなる市勢の発展と市民福祉の向上に寄与できるよう誠心誠意努めて参ります。

今後とも皆さまの力強いご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。